

平成29年 2月 市長定例記者会見

2017年 1月31日(火)

午後 1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 お待たせをいたしました。

定刻の時間となりましたので、ただいまより平成29年 2月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては、事業発表についてからお願いしたいと思います。事業発表の質疑応答終了後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、お手数ですが、ご自席のマイクのスイッチを入れていただき、ご質問の後は切ってくださいようお願いいたします。

終了は14時30分を予定しております。ご協力お願い申し上げます。

それでは、市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 2月の定例記者会見ということで、よろしくお願いいたします。

私、1月早々インフルエンザにかかってしまいまして、皆さんに迷惑をおかけしてご心配をかけました。市民の皆さんも、また記者の皆さんも、お体に留意されまして頑張ってくださいようよろしくお願いいたします。

きょうは余り議題がありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 それでは、事業発表をお願いいたします。

【市長】 事業については1項目です。

敦賀南スマートインターチェンジの開通についてであります。

平成24年 4月17日に連結許可を受けまして、敦賀市長谷地係において整備を進めてきました敦賀南スマートインターチェンジが3月25日土曜日15時に開通いたします。

今回開通する敦賀南スマートインターチェンジは、県内には南条サービスエリアにスマートインターがあります。本線に直結するスマートインターとしては初めてであります。また、舞鶴若狭自動車道におきましても初めてのスマートインターチェンジとなります。

敦賀南スマートインターが開通いたしますと、既存の北陸自動車道の敦賀インターと合わせて高速道路網に2カ所の玄関口ができることから、市民の皆様の利便性向上はもとより、両インターチェンジを活用した観光促進及び地域経済の活性化に期待しております。

以上です。よろしくお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 ありがとうございました。

それでは、ただいま発表いたしました項目について質問を受けたいと思います。

最初に、幹事社さん、お願いいたします。

【記者】 敦賀南スマートインターチェンジの開通に絡んで、市の予算で何か関連する工事とかあれば、その費用とか、こういったものを整備するのかというのを教えていただきたいんですが。

【市長】 では、部長のほうからお答えします。

【建設水道部長】 では、ただいまのご質問にお答えします。

このスマートインターチェンジ、総事業費が約25億円でございまして、そのうち敦賀市

が負担するのが2億5,000万円でございます。ETCゲートから高速道路の外側、この部分が敦賀市の負担分で、ETCゲートの内側、インターチェンジの部分につきましてはNEXTCOのほうで負担をするということで、総額25億円となっております。

【記者】 今回、スマートインターの話がずっと出ていたと思うんですけども、開通日時が出たところが新しいところですかね。ちょっと確認だけしたいんですけども。

【建設水道部長】 はい、そうです。これまでの公表では今年度中ということで今までずっとお話をしておりましたが、正式な日時、25日の15時が決まりましたので、今回お知らせをするということでございます。また、開通式の式典というのを当日の午前中に予定をしておりますが、詳細についてはまだ関係機関と調整中でございますので、決まり次第、改めて発表したいというふうに考えております。

【記者】 もう一つ、スマートインターチェンジが開通することで、その一帯周辺の整備について、市として何か政策として考えているものがあれば教えていただきたいんですけども。

【建設水道部長】 敦賀南スマートインターと敦賀インター、この2カ所が高速道路網の玄関口ということで位置づけられると思うんですが、この2カ所の玄関口を利用して市内の周遊観光が図れるのではないかと、こういうふうにご利用いただけたらというふうに思っております。近くにありますふるさと夢市場、それから金ヶ崎にございます赤レンガ倉庫、そういった2点、それから気比の松原であるとかそういう市内の名所、観光地をこの2カ所のインターを利用して観光に訪れていただければというふうに考えております。

【記者】 そういう狙いに伴って、例えば看板を立てるとかパンフレットをつくるとか、何かもう決まっていることがあれば知りたいんですけども。

【建設水道部長】 きょう一緒にお配りしておるかと思うんですが、このチラシ、25日開通というA4一枚の両面なんですが、これを中日本の名古屋支社及び金沢支社管内のサービスエリア、パーキングエリア約40カ所にこのチラシをあす以降、配布予定でございます。それから、福井県内、滋賀県内の道の駅、こちらのほうにも置いていただけるよう現在調整中でございます。それから、今パンフレットのほうを制作しておりますので、これも開通に合わせて、先ほど申しましたパーキング、サービスエリア、こういったところにも設置したいというふうに考えております。

以上でございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社伺います。発表項目につきましてご質問ありましたら挙手をお願いします。

【記者】 パンフレットとかチラシの配布枚数がわかれば教えてください。

【建設水道部長】 まずチラシのほうですが、全部で5万枚印刷をいたします。これらを先ほど申しましたようにサービス、パーキングエリア、こういったところに配布を予定しております。

それから、パンフレットのほうなんですけれども、2万枚を印刷予定で、こちらのほうを今お話ししました場所に設置予定でございます。

【記者】 南スマートインターチェンジで観光誘客だと思ってしまうんですけども、海へのアクセス道路がまだ、県の事業になったかなとは思ってしまうんですけども、岡山松陵線が結局どうなっているのかという現状ご存じでしょうか。

【建設水道部長】 それでは、私のほうからお答えいたします。

岡山松陵線は今現在、福井県のほうで整備中でございます、できるだけ早期に完成をしていただきたいということで要望を行っております。県のほうも早期整備に向けて現在鋭意努力していただいております。完成のほうは、ちょっとまだ未定ということをお願いしたいと思います。

【記者】 南スマートインターチェンジの利用予測台数とか、今出ていますでしょうか。

【建設水道部長】 では、私のほうからお答えします。

1日1,000台を予定しております。

【記者】 市長に改めてお聞きしたいんですけども、南スマートインターチェンジが開通することで、どのような活用策があるか、あと期待。それから、何か緊急に整備しなければいけないなど感じていることがあれば教えてください。

【市長】 敦賀南インターチェンジができますので非常に期待しています。というのは、今部長も言いましたように、敦賀で2カ所の高速道路の窓口ができますので、そういう意味では、例えば敦賀を通り越して嶺南のほうに行っていただいても、帰りに敦賀に寄っていただいて市内で観光して見ていただいたり、逆のパターンもあると思いますけれども、そういう意味では利用しやすくなるというふうに思っております。

もう一つは、南スマートインターチェンジの近くに夢市場というのがありますけれども、そういう集客施設をちょっと拡大できればということを考えていますので、そうしますとまた降りてくださる人が増えるんじゃないかと。

今ご質問にありましたように、ただ、やらなくてはいけないのが岡山松陵線とかミッシングリンクがありますので、そこを早く工事してつなげていきたいというふうに思っています。ただ、今ある道路でもそれなりのアクセスができるように看板等を設置しますので、道路標識を設置しますので、そういう意味では十分回遊していただけるんじゃないかなというふうに思っています。

【記者】 2カ所の入り口ができるということで、観光ではなく防災や危機管理などで期待できる場所はありますか。

【市長】 そうですね。防災とか危機管理につきましては副市長が答えるかもしれませんが、交通手段の一つとしてできるわけですから、それについても何かあったときの逃げ場としては有効に活用できるというふうに思います。

【記者】 敦賀南スマートインターができることで、今もんじゅの廃炉で交渉しているハーモニアスポリス構想の高島市とのトンネルの整備に向けて、何か好材料となるようなとか、多分トンネルができれば高島のほうからこのスマートインターを使ってというような話になると思うんですが、そこらの期待と今後のリンクのさせ方みたいなものがあれば教えてください。

【市長】 敦賀南インターチェンジのところでいかに人に降りてきてもらうかというのも一つの方法ですし、そうやって高島のほうのアクセスということは当然狙うべきことだと思っておりますので、一つの弾みになればいいなということは感じています。

もう一つは、あそこの近くが芥川龍之介とか今昔物語の話の中にある芋粥の場所でもありますので、そういう芋粥の里として発信できるような形ができれば、観光の皆さんとかも集まってくれるんじゃないかなというふうに思っています。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へと行きたいと思います。こちらも幹事社さん、よろしくお願いします。

【記者】 もんじゅの廃炉が正式に決まってから1カ月以上たつんですけども、その後、国との交渉などで何か進展したことがあるんでしょうか。あるいは、市のほうからこういっただけを求めているというのが新たにあればお願いします。

【市長】 2カ月ほどたつんですけども、現時点では国と具体的な協議は行っていませんし、国から具体的にいつ協議をするという打診も今のところはありません。協議の場につきましては、年末に松野大臣にも申し上げていますので、この間の原子力懇談会でもいろんな場を通じてコミュニケーションをさせていただきたいという話も聞いていますのでアプローチがあつてしかるべきだと思っていますが、私どものほうからもちょっと動かないと遅くなってしまふんじゃないかということも思っています。

【記者】 その関連で何かまた上京されるご予定とか、今のところはありますか。今のところは特にないでしょうか。

【市長】 今、私、上京する予定がありませんので、ついでに寄るといふことも今は考えてないです。

【記者】 今の質問に関連して、市側からアプローチをしなければということですが、具体的にどういふアプローチの仕方がありますか。

【市長】 窓口をどこに捉えるかということになってくるんですけども、とりあえず文部科学省と経済産業省——資源エネルギー庁ですけども——に行こうというアプローチをとらなくてはいけないと思っています。私か、もしくは担当のほうで一回連絡をとりながらということも思っています。

【記者】 今のところ国側からは全くそれについての話し合いとか連絡もないということではよろしいですか。

【市長】 そうですね。1月24日の原子力懇談会のときにも、いろいろな場を通じてということでコミュニケーションをとらせていただきたいということも言葉ではいただきましたし、その後の担当の課長さんともお話ししたりもしましたけれども、具体的に条件の話をしたわけではありませんので、どこかでその場をつくらなくてはいけないと。こっちから求めていかないと、なかなかつづけてもらえないのかなというふうには感じています。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社伺います。ご質問ありましたら挙手をお願いします。

【記者】 さっきのハーモニアスポリス構想の関係で、市長の構想実現に向けた本気度は何%ぐらいですかね。

【市長】 ハーモニアスポリス構想自体についての本気度は100%。120%あります。ただ、それぞれの項目についての実現性ということになってきますと、かなり高いハードルですので、かなり頑張らないと実現しない可能性もありますから、そこをどうやって埋めていくかというのが今後の課題だと思っています。

ハーモニアスポリス構想自体は、近隣市町と仲よくして生活圏とか経済圏を膨らませていきたいと思いますというのが目的ですので、そういうことに関しましては今でもそういうアプローチをしようということではいろんな構想が出てきていますので、それについては少

しずつ動くと思いますが、水素エネルギーとかトンネルとかになってくると長期的な議論になってきますので、そこをきちんと捉えていけるかどうかというのは今後の努力によるだろうと思いますし、国にも要望しなくてはいけないと思っています。

【記者】 多少の難題があっても、実現に向けてやっぱり取り組んでいくという方向性は変わらないというお考えですか。

【市長】 もちろんそうです。方向性は変わらないです。ですから、今そうやってもんじゅに関連して出ているものもありますけれども、例えば東浦の8号線バイパスをつくりましょうとか、北前船の寄港地として日本遺産に登録して南越前町と一緒に組みましょとか、そういうこともありますし、国道161号も整備していきたいということで、あちらの同盟会にも入らせていただきましたので、そういう動き方自体もハーモニアスポリス構想の中であると思っています。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして2月の市長定例記者会見を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

午後1時49分 終了